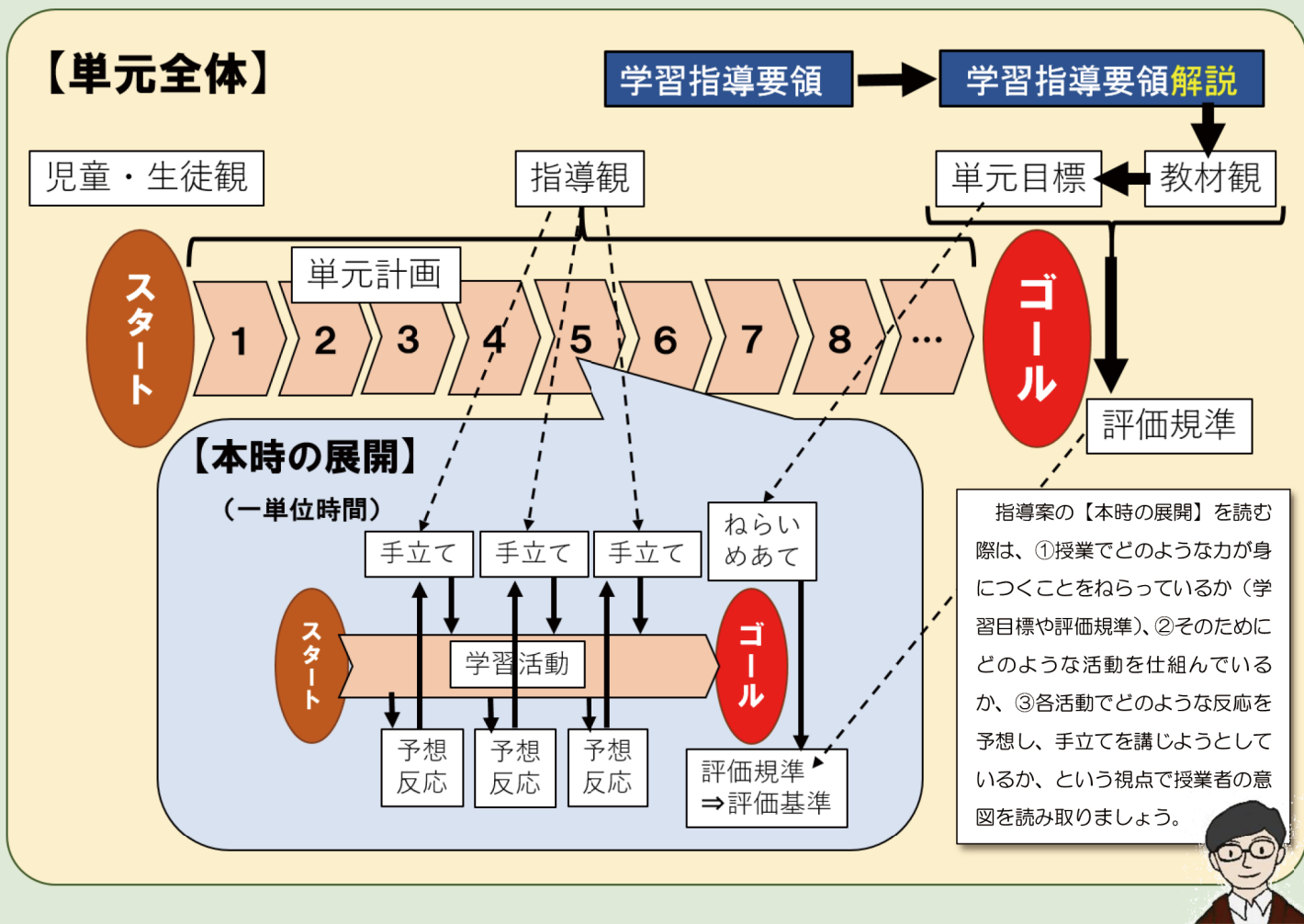


## 【学習指導案構成図】～スタートからゴールまでのストーリーの組み立て



## 【授業の見方】～授業で見いだされる児童生徒の姿は、偶然ではなく必然

「授業を通して実現した子供の姿が、教師のどのような指導の仕方や手立てによって生まれたのかを見抜く視点が必要です。授業で見いだされる子供の姿は、偶然表れるものではありません。その背後には教師の意図による必然性があるのです。」(『授業の見方』著：澤井陽介より)

- |     |  |
|-----|--|
| 授業前 | <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 学級の雰囲気や学習準備状況などから、児童生徒の学習に向かう姿勢を観察しよう。</li> <li>□ 掲示物や机の並びなど、学習環境を把握しよう。</li> <li>□ 教室の後ろ、横、前のどこで授業を見るのかを決めよう。</li> </ul>   |
| 授業中 | <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 児童生徒がゴール(本時の目標)に向かう道筋を追っていこう。</li> <li>□ 教師の発問や指示に対する児童生徒の反応を注意深く観察しよう。</li> <li>□ 児童生徒の反応に対する教師の対応を注意深く観察しよう。</li> <li>□ 机間巡視をして、つまずいている児童生徒を見つけよう。</li> <li>□ 机間巡視をして、思考が深まっている児童生徒を見つけよう。</li> </ul> |
| 授業後 | <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 学習後の余韻が、どのような形で表れているかを観察しよう。</li> <li>□ 学習(児童生徒の思考)過程が、どのように黒板に書き表されているかを確認しよう。</li> <li>□ 授業の山場やターニングポイントはどこだったかを検証しよう。</li> </ul>   |

わからないこと、困ったことなどがあった場合、気軽に遠慮なく連絡して下さい。

教育実践総合センター(高柳) Tel: 28-8398 / Mail: f8977@cc.saga-u.ac.jp

教師を志す佐賀大学の学生のみなさんへ

2023年度版

# 学習指導案作成の手引き

## 授業とは、

昨日よりも今日というように、気づいたり工夫したり、教師自身に成長の実感がある。ありあわせ、持ち合わせの力で授業をしない。何かを加える、何かを加えられて教室を出る。

(大村 はま)

賢くなろうとして本や黒板に教えるを乞うてはならない。天と地と林と木の葉とは、本当に子供らを賢くするであろう。

(ヤン・アモス・コメニウス)

やってみせて、言って聞かせて、やらせてみて、ほめてやらねば人は動かじ。話し合い、耳を傾け、承認し、任せてやらねば、人は育たず。やっている姿を感謝で見守って、信頼せねば、人は実らず。

(山本 五十六)

人にものを教えることはできない。みずから気づく手助けができるだけだ。

(ガリレオ・ガリレイ)

教育は科学ではありません。それは芸術でなければならないのです。

(ルドルフ・シュタイナー)

## 指導案とは、

教育の過程はそれ自体を超えるいかなる目的ももっていない。すなわちそれはそれ自体の目的なのだ。

(ジョン・デューイ)

平凡な教師は言うて聞かせる。よい教師は説明する。優秀な教師はやってみせる。しかし最高の教師は子供の心に火をつける。

(ウィリアム・ワード)

人生は卒業後に自分からどれだけ能動的に働きかけるかで決まる。

(小柴 昌俊)

## 評価とは、

学べば学ぶほど、自分が何も知らなかった事に気づく。気づけば気づくほどまた学びたくなる。

(アルベルト・アインシュタイン)

子供に教えるためには、子供を知らなければならない。子供を知るためには、子供に教えなければならない。

(アラン・エミール・オーギュスト・シャルティエ)

教えることのできない子供というものはいない。あるのは子供達にうまく教えられない学校と教師だけである。

(マックス・アドラー)

佐賀大学教育学部附属教育実践総合センター

